

季節の花事典

麓 次郎著 A5判・上製・554頁 予価：本体7800円+税



中南米やアフリカ、ヨーロッパから渡来した花々を中心に約90種を取り上げ、様々な話題を完全網羅！

ヨーロッパ経済を震撼させたチューリップ狂時代、王妃に愛されたマーガレット、インカの黄金マリーゴールドの話など、話題満載！



項目の一部

花の女神フローラとアネモネの神話
紀元前4000年前から利用されたアンズ
医師の名称「杏林」の起こり
牡羊が教えた強壮薬イカリソウ
春の山菜ニリンソウ
豊臣家に追われたミスミソウ
「母の日」とカーネーションは
いつどこで結び付いた
「雨を予知する聖木＝ギョリュウ」
のいわれ
通風の妙薬イヌサフラン
江戸の園芸とサクラソウ
シュランの花の食し方
催淫薬としてのスイートピーの歴史
中世ヨーロッパのチューリップ狂時代
クロユリの花言葉「恋」「呪い」の由来
聖母マリアとヒナギクの花
夏目漱石『三四郎』とペリオトープ
北海道とライラックの結び付きは？
古代ローマ人に好物アスバラガス

シェークスピアとウイキョウ
戦後日本で開花したガーベラ改良
モーゼとキョウチクトウの伝説
注目のエディブル・フラワー、
ナスタチューム
サルビアのブラジル名
「マダム血」の由来
森の妖精セージと美青年の恋の物語
19世紀ヨーロッパを席卷したゼラニウム
園芸江戸の園芸人に愛された
マツモトセンノウ
グラント将軍の花、タイサンボク
華岡青洲とチョウセンアサガオ
ノウゼンカズラと白楽天
ヴィーナスの恥じらいから生まれた
バラの花
楊貴妃とビヨウヤナギ
ベニバナの利用は古代エジプトに始まる
ハウセンカの意外な薬効
妖精の銀の鈴とフウリンソウの伝説

セイタカアワダチソウの汚名を晴らす
宣教師ダンカルヴィルとアスター
和紙づくりとトロロアオイ
弘法大師とカワラケツメイ
江戸風俗記に残る
七味唐辛子売り子の口上
「医者いらず」のアロエの名の由来
カンガルー・ポーとプラントハンター
恋のお守りキンセンカと
クリムノンの悲嘆
純潔の守護者・聖アグネスと
クリスマスローズ
ゲッケイジュと栄誉を称える
月桂冠の由来
アダムとイヴとスノードロップの伝説
日本が生んだ観葉植物ハボタンが世界へ
ヒアシンスとアポロンの伝説
「畑のカズノコ」の正体は？
オーストラリア探検と有用樹ユーカリ
ほか、充実の内容！

ご購入の際は下の注文書をご利用の上、お近くの書店にお申し込み下さい。

八坂書房 東京都千代田区猿樂町1-4-11 TEL.03-3293-7975 FAX.03-3293-7977

注文書

季節の花事典

ISBN4-89694-440-2

C0045 ¥7800E

麓 次郎著

定価：本体7800円+税

申込数

冊

書店番線印

ご氏名
ご住所

TEL. ()